



学校だより

宿河原

令和6(2024)年 11月29日 [第389号]

川崎市立宿河原小学校

川崎市多摩区宿河原

2-1-1

TEL 044-933-5437

対話を通して、あたたかい関わりを

校長 堀川 勝也

北国からは雪の便りも届き始め、本格的な冬の到来も間近のようです。

今の子は、知識の暗記や正論を述べることだけにとらわれて、そこから自分の言葉で考える、想像する、表現するといったことが苦手なので、国語に限らず、他の教科から日常生活までいろんな誤解が生じ、生きづらさが生まれたり、トラブルになったりしてしまうのです。言ってしまうえば言葉が失われている状態なのです。

上記は「誰が国語力を殺すのか」石井光太著（文藝春秋2022）というルポルタージュの本で、国語の物語単元で誤読がされていることを受けた公立小校長の言葉です。私も同感で、特に最近「うざ」「きも」等、言葉がスタンプのように行き交う子ども達に危惧を覚え、後期はじめの校長あいさつで対話に関する話をしました。

対話で大切なことは話すことより聞くことで、聞く人にとって大切なことは相手を尊重（リスペクト）すること、共感すること。その例として二人の会話を挙げました。

A：のび太さんがお休みだから、私はぞうきんもやるね。

B：しずかさん、友だちのことを思っていて、すごいね！＝相手を尊重（リスペクト）＝

A：あした、算数のテストがあるからイヤだな。

B：そうだよね。でも、明日の給食はハンバーグが出るから、それを楽しみにがんばろうよ！＝共感＝

また、現在の学習指導要領は「主体的・対話的で深い学び」を目指しています。ここでいう対話的の対話は、単なる会話や議論より、互いの主張を傾聴し合うことにより相互学習の機会が生まれ、話し、傾聴するという行為の過程で、一人一人が自己内省（リフレクション）を行うことを目指したものです。東大名誉教授佐藤学氏によると教室での学びの実践は『対象との対話的实践』『自己内の対話的实践』『他者との対話的实践』の3つの実践があり、それぞれが相互に媒介し合う関係だそうです。

こうした対話、私たち大人同士でも難しいですね。特に社会を二分する論点に関して「聞く技術 聞いてもらう技術」（ちくま新書2022）の著者である東畑開人さんは、以下の記述をしています。

エビデンスやファクト、ロジックや物語が行き交う。だけど、言葉は両者をヒリヒリさせるだけで、全然伝わらない。すると、より強く主張せねばと互いに思うから、声は大きくなり、言葉は硬くなる。トゲが生える。かくして切っ先鋭くなった言葉たちは対話を深めるのではなく、対立を深めてしまう。

対話を深めるには、まずは自分をさておき、論破（自分の話ばかりする）よりも相手にリスペクトと共感をもって聞くことが大切なようです。

人権週間に人権に関する標語が校内に掲示されました。

権利は 生まれた時から 君にある（6年 佐藤泰成さん）

だいじょうぶ ありのままに 生きていい（3年 北里しゅうやさん）

大人と子どもの対話も、子どもが私たちの下の存在と考えず、「いつも見ているよ」という気持ちで対話したんですね。私たち大人も失敗する、失敗からこんなことを学んだよという経験談は対話を加速させるでしょう。

時にはポジションチェンジ。子どもの視点、相手の視点に立って考えて話す。そうすれば論破ではなく、相手の意見を聞くことの大切さが分かり、自分の話ばかりしなくなるかもしれません。

12月・1月と家族でふれあうことが多くなりますね。子どもとの対話を通して、あたたかい冬をお過ごしください。

本校 教育理念

自立協働

自分で考え、人との関わりで育つ子



日	曜	1 2月の行事予定	1年	2年	3年	4年	5年	6年	放課後
1	日								
2	月	朝会 演劇鑑賞教室	4	5	5	6	6	6	×
3	火	委員会活動 多摩区絵本の会(3年)	5	5	5	5	6	6	×
4	水	B時程 2年藤子F不二雄ミュージアム見学	4	4	4	4	4	4	×
5	木	全学年4時間授業 希望制個人面談① 朝読書 多摩区絵本の会(1年朝・2年)	4	4	4	4	4	4	×
6	金	全学年4時間授業 希望制個人面談②	4	4	4	4	4	4	×
7	土								
8	日								
9	月	全学年4時間授業 希望制個人面談③ フレンドリー集会1組班	4	4	4	4	4	4	×
10	火	全学年4時間授業 希望制個人面談④ 6年地層見学	4	4	4	4	4	4	×
11	水	集会 校内研究日(ルーム級:5時間授業) 学校巡回カウンセラーAM フレンドリー集会2組班	4	4	4	4	4	4	×
12	木	朝読書 代表委員会 多摩区絵本の会(ルーム)	5	5	6	6	6	6	×
13	金	6年人権教室 2年多摩図書館見学	5	5	5	6	6	6	×
14	土								
15	日								
16	月	6年バスケットボール教室	4	5	5	6	6	6	○
17	火	クラブ活動 フレンドリー集会3組班	5	5	5	6	6	6	×
18	水		4	4	5	5	5	5	×
19	木	朝読書 フレンドリー集会4組班	5	5	6	6	6	6	×
20	金	全学年5時間授業 6年薬物乱用防止教室 音楽委員会クリスマスステージ(中休み)	5	5	5	5	5	5	×
21	土								
22	日								
23	月	学校巡回カウンセラー 音楽委員会クリスマスステージ(中休み)	4	5	5	6	6	6	×
24	火	全学年5時間授業 職員研修日 音楽委員会クリスマスステージ(中休み)	5	5	5	5	5	5	×
25	水	後期前半授業終了 全学年4時間授業 朝会 給食終了	4	4	4	4	4	4	×
26	木	冬季休業開始(~1月6日まで)							
27	金	学校閉庁日							
28	土								
29	日								
30	月								
31	火	大晦日							

1月の主な行事予定

日	曜	行事予定
1 / 6	月	学校閉庁日 冬季休業終了
7	火	後期後半授業開始 B時程給食なし 朝会 大掃除
8	水	給食開始
9	木	下校指導
13	月	成人の日
14	火	委員会活動
16	木	朝読書 代表委員会 6年稲田中学校訪問
21	火	クラブ活動
22	水	B時程 学校巡回カウンセラーAM
23	火	全学年5時間授業 職員研修日 第2回フレンドリー集会
24	水	6年能楽体験教室
28	火	校内研究日(3年)

学校教育活動についてのアンケート

今年度も学校評価アンケートへのご協力ありがとうございます。

このアンケートは、学校教育法・学校教育法施行規則に基づき、「学校評価ガイドライン」が平成19年に作成されたことによるものです。学校として、組織的・継続的な改善を図り、教育水準の向上に努めることはもちろん、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりをすすめることが目的です。

今年度もミマモルメで配信し、WEB上で回答していただいています。締め切りは11月29日(金)までです。まだ回答されていない方はぜひ回答をよろしくお願いいたします。ご回答いただいたアンケートはすべて、管理職を含め全教職員で共有し、今後の教育活動に役立ててまいります。

個人面談(希望制)

12月5日(木)、6日(金)、9日(月)、10日(火)

詳細につきましては、各クラスから面談を希望された方に配付しました手紙(11月18日配付)でご確認ください。

これまでの子どもたちの育ちの様子を、保護者のみなさまと話し合い、学年の終盤に向けて、実りある学校生活にしていきたいと考えています。有意義な時間にしていきたいと思っておりますので、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

<寒い時には手袋を！>

登校時や下校時、上着などのポケットに手を入れたまま歩く児童がいます。寒いとはいえ、転倒の際にとっさに手が出ないので、大きな怪我につながる恐れがあります。自分の身を守るという意味でも、手が寒い時には、手袋をつけるよう、ご家庭でもお声がけくださいますよう、お願いいたします。

冬季休業中における「学校閉庁日」の実施について

教育委員会では、児童生徒がより充実した学校生活を送るためには、教職員が健康で心にゆとりをもって児童生徒と向き合う環境をつくる必要があると考え、その取組の一つとして平成30年度から「学校閉庁日」を設けております。

今年度も、冬季休業中に次のとおり学校閉庁日を実施させていただきます。**期間中は学校に教職員が不在となりますので、来校や電話等の対応ができません。来校や緊急でない電話は学校閉庁日を外していただくほか、事故等の緊急の際は、下の連絡先まで、お願いいたします。**

なお、わくわくプラザ事業につきましては、通常どおり運営されます。

1 学校閉庁日の期間

令和6年12月27日（金）、令和6年1月6日（月）

※12月28日～1月5日は、週休日及び年末年始の休日のため不在にしております。

2 緊急の際の連絡先

教育委員会事務局 受付時間 8：30～17：15（12：00～13：00を除く）

多摩区・教育担当 **044-935-3795**

学校教育部指導課 **044-200-3290**

学校閉庁日についてのお問合せ

川崎市教育委員会事務局職員部 教職員企画課

〒210-0004 川崎市川崎区宮本町1番地

電話：044-200-2721